

エネルギー見える化で省エネサポート

広域モニタリングシステム

こんなことでお困りではありませんか？

対象設備 ローカル機器やアナログ計器が散在している工場設備

課題 広域にわたった工場全体でのエネルギー管理、
エネルギー使用状況の把握



- ▶ 工場内に分散して設備が多く、各所ではエネルギー監視しているが、ネットワーク化されておらずトータルでエネルギー監視を実施できていない。
- ▶ 省エネ対応のため、工場内各設備の電力使用量、蒸気使用量を計測し管理することは重要であるが、データ化やレポート作成の作業が煩雑になり、多くの工数を要する。
- ▶ 工場内のどこでエネルギーを消費しているのか、優先的に省エネ改善するポイントが掴みづらい。



手軽にスタート！広域モニタリングシステムで遠隔監視の課題解決



広域に存在する設備を遠隔監視で統合管理することが可能です。
クラウド環境を活用して時間とコストを抑え、
効率的に監視システムの構築を進めることができます。



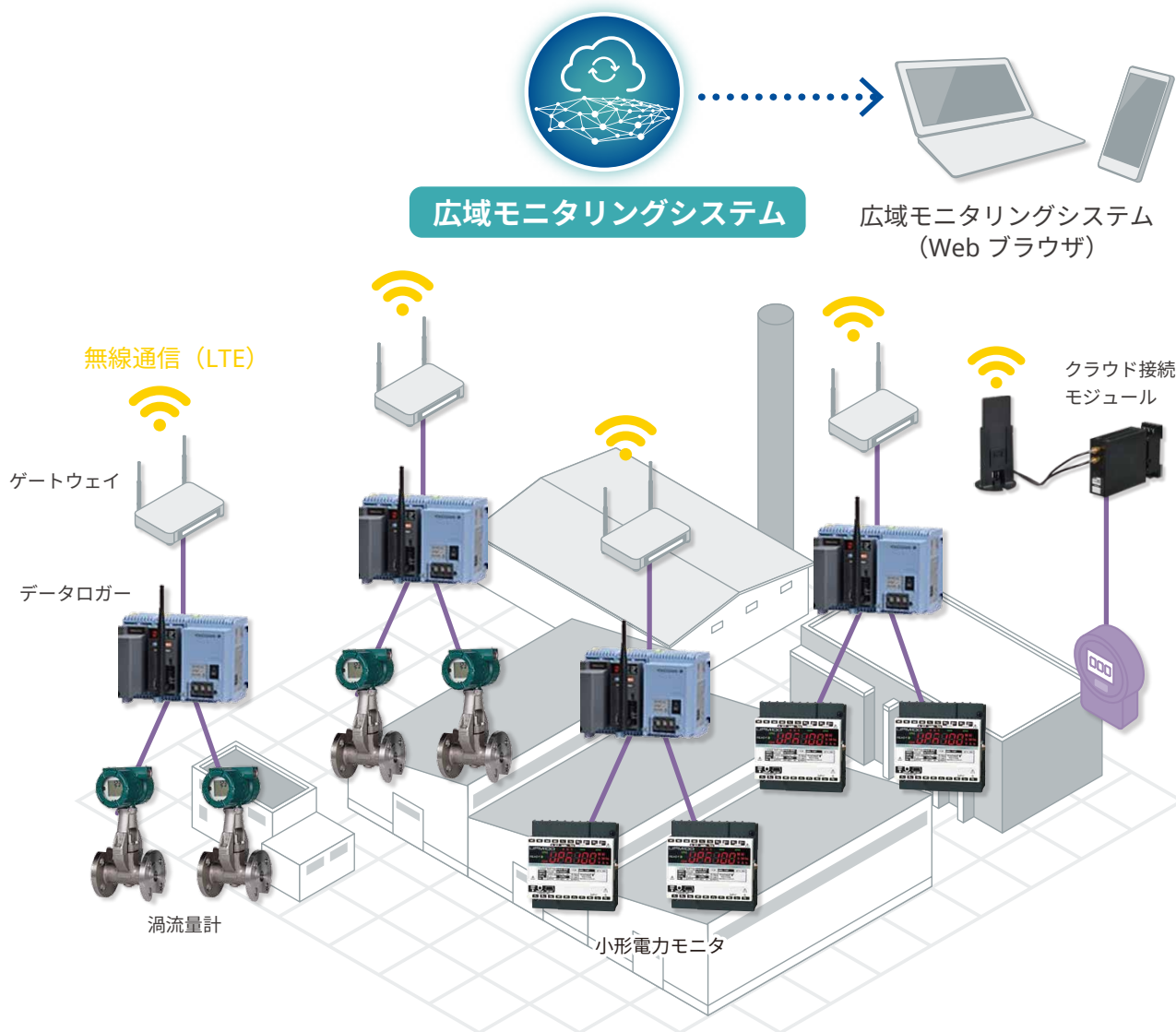
課題解決による価値

- ✓ 各設備のエネルギー使用状況がクラウドで一元管理されるため、エネルギー集計の工数を大幅に削減できる。
- ✓ エネルギーの見える化で、エネルギー使用量の多い設備に気づき省エネサポートにつながる。



システム構成案

電力計測箇所の電力量、蒸気計測箇所の蒸気流量をデータロガーに集約、スタンドアローンのセンサデータもクラウド接続モジュールを活用して広域モニタリングシステムで一元管理します。これにより工場全体のエネルギーを見える化し、また収集したデータから、エネルギー使用量の多い設備順にランキングしたレポートを作成し、省エネ対応をサポートします。



▶ 機器概要一覧

カテゴリ	製品	備考
クラウド	広域モニタリングシステム	収集周期5分、50計測データ
通信	無線通信接続ライセンス	
通信機器/データ収集	ゲートウェイ、クラウド接続モジュール/データロガー	
センサ	渦流量計、小形電力モニタ	

▶ 適用業種

化学、食品などのローカル機器の多い工場

Co-innovating tomorrow、OpreXおよび本文中に掲載の横河電機株式会社の商品名称は、横河電機株式会社の登録商標または商標です。その他、本文中に使われている会社名および商品名称は、各社の登録商標または商標です。

横河電機株式会社

横河プロダクト本部コントロールセンター DXパッケージビジネス部
〒180-8750 東京都武蔵野市中町2-9-32

横河ソリューションサービス株式会社

ライフサイクルビジネス本部ビジネスイノベーションセンターアセットマネジメントビジネス2部販売推進Gr
〒180-8750 東京都武蔵野市中町2-9-32

記載内容は、お断りなく変更することがありますのでご了承ください。
All Rights Reserved, Copyright © 2024, Yokogawa Electric Corporation.



お問い合わせは

メール : wam_formoreinfo@cs.jp.yokogawa.com
ホームページ : <https://www.yokogawa.co.jp/wams/>

Printed in Japan, 510(AZ) [Ed:03d]

YOKOGAWA



Co-innovating tomorrow™